

令和3年度第2回菊川市男女共同参画推進懇話会及び菊川市男女共同参画推進プラン策定委員会の議事録

(1) 第4次菊川市男女共同参画プラン素案について・・・資料1を事務局が説明

(質問) 自治会長や役員における事務量について

【委員】自治会長や役員を決めるにあたり、男性も女性もなり手不足という状況です。知り合いの自治会長は、自治会長になるために、仕事を休職したようです。仕事をしながら、自治会長を務めることは難しい状況です。業務の改善の必要性を感じました。

(質問) 地域におけるフレイル予防の取り組みについて

【委員】2014年日本高齢医学会がフレイル対策についての提言がありました。日本の寿命は世界のトップクラスですが、健康寿命を延ばさないといけない状況にあります。栄養の取り方や運動、社会参加などが、健康寿命を延ばすには大切であり、特に、社会参加が重要であります。このような「フレイル予防」を地域の取り組みとして実施していくことがいいかなと思います。

(質問) 「女(ひと)と男(ひと)」の表記について

【委員】第1章3の第3次プランの「女(ひと)と男(ひと)」を「ひととひと」と読むのであるなら、「ひと(女)とひと(男)」と方がわかりやすいのではないかと思います。

(質問) 市役所による「参加しやすい自治会の環境づくり」について

【委員】自治会の参加を促進するための「参加しやすい環境づくり」は、やはり市役所の方で作っていただくのがいいかなと思います。例えばオンラインやITの活用です。今回わざわざ会場へ来たのは、オンライン会議をどういう状態で見ることができるのかを確認するためです。これは自宅からでもできます。

また、LINEなどを活用すると、対話でなくてもよい会議などでは、事務局から会議資料を送り、その人に合わせた時間で確認できるようなやり方もできると思います。対話ではなく、メールやLINEなどの手段で投げかけ、回答期間を1週間ぐらい設け、時間があるときに回答をいただくという形にすれば、参加率が上がると思います。具体的なことを書くことはできないで、市役所が参加者環境づくり行うと書いてありますが、これで具体例として今みたいなものをしていただければと思います。職場で協力的な会社などがあれば、職場で仕事の合間に、LINEなどで、会議もできると思います。

(回答)

【事務局】先ほど委員からの御意見もありましたので、少しまとめて御紹介したいと思います。先ほど事務局の担当から説明があった「地域社会における男女共同参画の推進」のID83「地域活動や自治会などの負担軽減」ということで、前回も御意見いただいて、現在、市としてもここは本当に取り組んでいけない分野だと感じています。ここに書いてある内容について、具体性がなく、まだ見えないところがあるのですが、本年度から各自治会に依頼している委員の選出や自治会長に出役や事務をお願い

しているものを各課から洗い出しをしている状況になります。その中で、取りやめるべきものやお願いせざるを得ないものなどを地域支援課自治振興係で進めています。また、今御意見いただいたオンラインやICTを活用した取り組みについては、今後、市としても進めていかないといけない分野だと思っています。市役所でもICT推進係がありまして、さまざまな分野で研究を進めています。

(御意見) 新型コロナウイルスに係る事業 (オンラインや ICT 活用事業) や文言について

東日本大震災のときには、男女共同参画で、防災の要件を入れなさいとありました。今回は「コロナ」の要件を入れないと、菊川市の方向性が他市町とずれてしまいます。ぜひ入れてください。

(2) 第4次菊川市男女共同参画プラン基本理念について・・・資料2を事務局が説明

【委員】事務局から提案していただいた案が、コンパクトにまとまっているし、「誰もが」や「多様性」と時代にあっていて新鮮でとてもいいなと思ったのですが、素案の方にあった、女性が外で働いて管理職になるという選択もあれば、そうではなくて、やはり家庭で、「家のことをすることを楽しい」と感じる、あるいは「子どもと長く時間をいることが楽しい」と感じ、そのような選択もあると思います。資料2にも「選択」という言葉が出てきていて、第3次プランの中にもあった「自分らしく」というところにもあるように、自分が自分らしくいられるためには、自分で選んで生活ができればいいなという思いがずっと心の中にあります。この「選ぶ」や「選択する」ということが表すことができればいいなと思っています。具体的にちゃんとした言葉をまだできていないのですが、こういう「自分が自分らしく」という言葉を入れることができればと思っています。

【委員】今の意見に賛成です。「いきいき輝くまち」という言葉はとてもいいと思いますが、今言うてくださったように「自分が望む」や「自分らしく」などは、菊川市のこれまでの基本理念を見るとやはりそれがすごく大事だと思いました。「いきいきと暮らす」や「互いを認め合う」などもありますけれど、他市町と比べてやはり「自分で選択できる」という言葉が入ると菊川らしさが出るかなと思います。そのような一言が必要なので何か入るといいかなと思いました。

【事務局】御意見をお聞きして、確かに「それぞれの自分らしさ」というところは非常に大事な言葉だと思います。例えば、この中を見ると、「多様性を認め合い、自分らしく輝くまち」という形であれば、この「自分らしく」という姿が、「職場や家庭の中でも自分らしく選択して輝ける」という意味になるかなと思います。そこはこのような形で入れることができればいいなと思います。

【委員】私もだいたいこの意見に賛成ですけれども、第3次の「自分らしく」いくというところを私もいいなと思ったので、「自分らしく」という言葉を入れたらどうかと思いましたが、「いきいき輝く」や「自分らしく」生活できればいいなと思ったので、大きなくくりとしての基本理念で、そのままでいいと思います。もし上手に入れることができるのならば、「自分らしくいきいき過ごせる」という意味合いのある言葉を入れてもらえるのがいいかなと思います。

【委員】「いきいき」を全部「自分らしく」に変えるとおかしいですか。ひいては「自

分らしくあれまち」や「自分らしく輝くまち」の方がしっくりくるかなと思いました。

【委員】Zoomのチャット欄に、「自分らしく」を「ともに」もする「誰もが多様性を認め合い、ともにいきいき輝くまち」という御意見いただきました。

【委員】私の意見としては、あえて「男」と「女」と書いて「ひと」と「ひと」と読ませている基本理念が、歴代続いているのは、旧小笠町で過ごされていた方、旧菊川町で過ごされていた方の中に、強い思いみたいなものを感じるところが正直なところでは、先ほど委員の表記の仕方、「女」のあとに括弧で「ひと」、「男」のあとに括弧で「ひと」という言葉を、個人的にそのような表記の仕方もいいと思ったところもあります。

「誰もが」という表現がいいのか、「人」と「人」を引き続き使っていくのがいいかのどちらかという議題ではないかと思しますので、そのあたり、委員の皆さんから御意見いただきたいです。

【事務局】事務局も結局2案を上げたときに一番悩んだのが「誰もが」という表現に変えるか、今まで続けてきた「女（ひと）と男（ひと）」という表現を残すかというこの二つの案を残らせていただいています。前回の会議で、御意見いただいたように、今の時代として「男性」と「女性」という性のあり方だけでなく、「性の多様性」という部分を含めたときに、「誰もが」といった表現の方がいいのではないかと御意見をいただきましたので、そのような「誰もが」という言葉をつけさせていただきます。しかし、今まで使ってきた「女（ひと）と男（ひと）」という言葉が、これ以外の性別を排除するものとして、このようにつけてきたわけではないというところもあります。また、この事務局案を作るときに、過去の基本理念をすべて見て、旧町時代からこれが続いていたということ、私たちも改めて文字として見たときにここを変えていくことの重みを感じているところです。ただ、この表記を変えたとしたら、このように「多様性」や「多様な性のあり方」をいわれている今、ここの表現を変えるタイミングであるというのも一つの考えではないかと思いました。ここは皆さんにおかれましたが、どちらがいいとなかなか意見を言いづらい部分もあるのかなとは思いますが、ここに関して御意見がもしあればいただければと思います。

【委員】前回の会議で「外国人」のような言葉があってもいいのではないかと発言しましたが、今の時代、そのような意見もあるけれどもこのような意見もあるというように多様性が認められる時代です。一方でよくよく考えてみると、前回の会議でも言いましたけれど、「男女共同参画社会」やこの会議の「男女共同参画推進プラン策定委員会」のように「男女」という言葉が元々ついています。それを菊川市では、「女（ひと）と男（ひと）」と呼んでいます。男女共同参画を意識しながらも、男（おとこ）と女（おんな）と読むのではなく「女（ひと）と男（ひと）」と読んでいるところに意味あると感じていると思っています。それは尊重できることだと思いますし、ずっと使ってきている言葉であります。先ほど「自分らしく」という言葉は、菊川市としてのオリジナリティーがあり、尊重した方がいいと私は言いましたが、それと同じでこの「女（ひと）」と「男（ひと）」と言うのが、やはりここの旧菊川町と小笠町から菊川市まで続いたように、一つの「菊川らしさ」だと思いますので、基本理念に入れるというのは、別にいいのではないかと思います。また、先ほどの質問表で書いてくださった委員の言葉にもあるように、すごくその思いが強いと思いましたので、あえてそこを外すとかしなくても、「思い入れがある」と考えるや「菊川市のオリジナリティー」と考え、入れておいてもよいと思っております。

【委員】歴史の持つ重みについて、とても重いというのは、この「女（ひと）と男（ひ

と)」という表現だけでなく、男女の役割自体にもあり、昔から長く生きていらっしゃる高齢者の方にとって、男女の役割についての考え方は歴史と一緒にきているため、それを変えるのはなかなか難しいと思います。この「女（ひと）と男（ひと）」という表現も昔から使ってきた言葉なので歴史はありますが、男女だけではなく障害者だとか、年齢もそうですけれども、やはり「誰もが」の方がいいと思いますし、私はこれを機に変えればいいと思っています。「男女共同参画推進プラン」という名前で「男女」と出ていますが、基本理念は男女も含めて「誰も」がいいと思いました。

【委員】菊川町の時代から参加している私が少し意見を言わせてもらいますが、「男女共同参画」ということで、最初は、男と女という考え方でした。ところが今、トランスジェンダーやいろいろな可能性があるので、この機会に変えてもいいと思いました。それまでは男女で、片一方が家事や育児を全部やっていたところから、「男も女も平等」や「男女の前にひと」という考えのもと、「女（ひと）と男（ひと）」としました。さらに今、多様性が増えて、男女にしても、性別は分けることができない方もいる現状から、「誰もが」の方が新しいような気がします。今回変えるにあたって理由があれば別に全然問題ないと思います。

【アドバイザー】やはり「男女」ではないとされていて、「誰もが」や「一人一人が」というような表記にした方が、「そのような意識でこれから男女共同参画プランは動かしていくんだ」ということをアピールできると思います。静岡市の男女共同参画の基本理念に携わったときの審議委員でしたけれども、「ベストバランスで男女がともにいきいき輝くまち静岡」で違和感なかったですね。平成 31 年でした。もし今、審議委員だったらこれ多分、「「男女」ってどうなのか」という話になっていたと思います。変わってきているので、変わっていけばいいのかなという気は個人的にはします。

【委員】事務局案では、「多様性を認め合う」というのがあって、その前に「女（ひと）と男（ひと）」があります。多様性の前に、「女（ひと）と男（ひと）」である男と女がくると、何か少し違和感があると感じます。男と女が互いに認め合うという形になるので、私も多様性に対しては「誰もが」がいいと思っています。

【事務局】過去から見ると、どうしてもやはり「女（ひと）と男（ひと）」というところに、そこの重みを感じたので、この特徴も含めていいと思いましたが、いろいろな御意見もいただいた中で、この多様性も含めてというところであれば、「誰もが多様性を認め合い」、前段に関しては、こういった形にさせていただければと思うのですが、いかがでしょうか。前段に関しては「誰もが多様性を認め合い」という形にさせていただきたいと思います。後半については、「自分らしくいきいき輝くまち」、「自分らしく」を「ともに」変えた「ともにいきいき輝くまち」、「自分らしく輝くまち」が上がっています。

【委員】「誰が」が入っている最初の案で、そんな今おっしゃった「ともに」を入れると、なくてもいいとも思います。

【委員】「自分らしくいきいき輝くまち」がいいと思いました。

【アドバイザー】私も五感で、感覚ですけど「自分らしく」の方が「誰もが自分らしく」に対比があり、個性や個人にフォーカスできる場所もあると思うので、「自分らしくいきいき輝くまち」がいいという気がしていますので、皆さんの意見に賛同します。

【委員】私も「自分らしく」でいいと思いますが、「自分らしくいきいきと輝く」だとなにか日本語的に違和感があります。自分らしかったら、いきいき輝けるまちになるのかと感じます。少し日本語的に「自分らしく」だと「輝くまち」でいいのかと違和感が

あると感じました。

【委員】「いきいき」と「輝く」はほぼ一緒の意味で、「自分らしく」のみがシンプルに感じます。

【委員】「自分らしく」という言葉がとてもいいなと思ったのですが、
「いきいき輝いている」ということは自分らしくできている状況と
思いました。「自分らしく」も好きだけでも、そのまま「いきいき輝くまち」でも
いいかなと思いましたが、両方入れなくても「自分らしく輝くまち」や
「輝けるまち」のどちらかにすればいいのではないかと思います。

【事務局】「自分らしく輝くまち」もシンプルでいいのではないかと
いう御意見もいただいています。今御発言にあったように、後半の
部分は「自分らしく輝くまち」でいかがでしょうか。全体を通して
いくと「誰もが多様性を認め合い、自分らしく輝くまち」となり
ますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。（基本理念案の決定）

(3) 第3次菊川市男女共同参画プラン事業（令和3年度）について・・・資料3を事務局が説明

【アドバイザー】先ほど議論した基本理念がずっと頭の中でぐるぐるありまして、「自分らしく輝けるまち」だと個人に問いかけているようになるし、「自分らしく輝くまち」だと「まち」のイメージがあり、まちが結果的に輝いているというように全体的に捉えることができると思います。どちらも素敵だと思います。

「IKIGAI Map®」に関して、20代の学生の方からリタイアされた60代の方まで幅広い年代の方々に御参加いただきました。行政から頼まれてワークショップをやることもありますが、だいたい年代が偏ってしまいます。若い方も行政の事業に積極的に参加されているというのは、菊川市の魅力の一つだと思いますので、本当に一人一人が認め合うまち、市だと感じました。

【委員】「輝くまち 菊川」のように市の名前入れた方が、いい感じにまとまると思うかもしれないですねということを事務局に問いかけて終わりたいと思います。

皆さん、不慣れな中、いろいろ活発な御意見とありがとうございます。また、人流の抑制に御協力いただきありがとうございます。お互いにコロナにかからない、感染させないということで、今しばらく我慢の日々が続くとは思いますが、特効薬できた暁には、皆さんと対面で楽しくお話し出来たらと思っています。また、実際にお会いできて、活発な会議ができる日を本当に楽しみにしましょう。